

神奈川の研究者紹介

氏 名	細田 満和子（ほそだ みわこ）	
現 職	星槎大学共生科学部教授（博士（社会学））。副学長。	
主 な 経 歴	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専攻博士課程修了。 コロンビア大学、ハーバード大学研究員を経て現職。	
専攻分野・研究テーマ	社会学、医療社会学、生命倫理学、公衆衛生学 医療・福祉・教育・環境領域の公共性に関わるテーマを研究	
主 要 業 績 （これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等）	【著書】 『グローバル共生社会へのヒント』星槎大学出版会（平成27年） 『復興は教育からはじまる』明石書店（平成26年）編者 『「チーム医療」とは何か』日本看護協会出版会（平成24年） 【論文】 “Living with a Misunderstood Disease” , Eubios Journal of Asian and International Bioethics (EJAIB), Vol. 23 (3), May 2013, 70-72. 「インクルーシブスポーツの課題と可能性」『共生科学研究』19号、136-144頁（平成26年）共著 【委員・役員歴】 大磯町障がい者福祉計画策定委員会 副委員長（平成26年度） 国際社会学会 健康社会学部門 理事（平成27年より） 日本保健医療社会学会 理事（平成27年より）	
神奈川県との関わり	地域創生大学連携事業として「山北町室生神社流鏑馬の日本の馬文化支援」を実施（平成27年度）。未病産業研究会に加盟（平成27年度から）。	
メッセージ	【現在、関心をもっている領域】 地域の直面する現代的課題に対して、自治体、企業、市民、大学が、情報・知識・ものづくり・リソースを共有して協働することによって解決しようとする集合体やプロジェクトに関心があり、実践的研究を行っていきたいと考えています。 【神奈川県との連携に期待すること】 本学は箱根仙石原にメインキャンパスを持ち、大学院は大磯を拠点としています。神奈川の特に県西地区を中心に、地域と共に学びあう関係を続けていきたいと思っています。	
連 絡 先	星槎大学 横浜事務局 〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80 電話：045-979-0261 E-mail：info@seisa.ac.jp	

神奈川の研究者紹介

氏 名	樫永 卓三（かしなが たくぞう）	
現 職	星槎大学共生科学部教授（学士（造形表現・図画工作））	
主 な 経 歴	都留文科大学卒業。 横浜市立小学校教諭、横浜国立大学教育学部美術科長期派遣、副校長、指導主事、校長、横浜市教育委員会学校支援地域連携課嘱託を経て現職。	
専攻分野・研究テーマ	教材・授業研究、図画工作とユニバーサルデザイン	
主 要 業 績 （これまで 発表した著 書、論文、 行政委員の 経験等）	【著書】 「図画工作科の実践-中学年でのオブジェ工作-」2016児童心理No.1016金子書房P75-80 通常学級のユニバーサルデザインと合理的配慮 共著 【論文】 「共生科学と図画工作科」2014 共生科学研究No.9 P14-19 【委員・役員歴】 日本共生科学会、児童美術審査研究会理事、横浜市立小学校図画工作教育研究会顧問、はがきに描こう海洋の夢コンテスト最終審査委員長、MOA美術館全国児童作品展横浜南部地区審査委員長、大磯町放課後子ども総合プラン調整会議会長、総務省委嘱行政相談委員	
神奈川県との関わり	大磯町放課後子ども総合プラン調整会議会長（平成27年～）、大磯東光院親と子の朗読会開催（平成25年～）、その他県内幼・保・小学校にて造形教室を開催している。	
メッセージ	【現在、関心をもっている領域】 図画工作科教育におけるユニバーサルデザインを導入した指導の在り方等について、実際に教育現場で実践をしながら取り組んでいます。すべての子どもたちに表現することの楽しさを提供できる指導の在り方と計画作りを追究しながら日々格闘しています。 また、素材に対する豊かな感性を育む指導の在り方についても、素材開発と併せて考え続けています。 【神奈川県との連携に期待すること】 共生・人権・ユニバーサルデザイン教育を考えていく上で、大きな原動力として県全体でのボトムアップと共通理解が必須条件となる。神奈川県からそうした大きなうねりを起こせればと期待しています。	
連 絡 先	星槎大学 横浜事務局 〒227-8522 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80 電話：045-979-0261 E-mail：info@seisa.ac.jp	